

オンラインで体験しよう!



就実大学薬学部 体験入学 研究室公開

就実大学薬学部

最先端の薬学研究を



2022

ONLINE

オンライン
開催期間

8.10 水 ▶ 8.31 水

実験体験 の内容



A 公衆衛生学:動物の行動観察入門

マウスの脳機能の変化をみる

薬や物質による体への作用を調べたいときに、細胞などで代替できない場合は実験動物を用います。動物の特性を利用した行動テストを行い、記憶などの脳機能を評価します。

教員：吉川弥里

B 病態解析学:もううんざり! 新型コロナは今どうなっているのか

手を抜くところと、もうしばらく 気にしておいた方がよいところ、 共有できれば楽になる

ウイルスが変異してワクチンの効果には? マークが繰り返し出る一方、良く効く治療薬も使えるようになりました。「安全と引き換えの息苦しさ」を少しでも軽くするために知っておきたいことを洗い出してみました。

教員：小山真也

D 薬物治療学:「こころの病」を治す

実験動物の行動と脳の物質から 「こころの病」を解明する

現代社会は多くのストレスがあり、「こころの病」を持った患者さんは増加しています。このヒトの「こころの病」は見えません。この見えない「こころの病」を実験動物であるマウスやラットの行動変化で表現してもらいます。その行動変化、その時の脳内物質の変化から「こころの病」の病態像と治療薬の開発研究を行っています。

教員：北村佳久、出石恭久

E 医療薬学:漢方薬を電子レンジで 温めて飲んでよいのか?

温服時のマイクロ波の影響を探る

漢方薬の中には、体を温めて免疫力を高める薬があります。その薬は、水ではなくお湯に溶かして飲むと更に効果が高まります。電子レンジを使うと手軽に温められますが、果たして、そのマイクロ波は漢方薬の成分変化を起こさないのでしょうか?

教員：島田憲一、毎熊隆登、吉井圭佑

C 薬物動態学: “くすり”にも受験があるんです

“くすり”の品質を評価する方法を知ろう

“くすり”の効果を最大限に引き出し、副作用を最小限に抑えるためには、その品質を一定に保つことも重要です。国で定められたさまざまな品質評価試験をパスした製品が、“医薬品”として、患者さんに届けられています。今回は、錠剤の品質を評価する方法について、みてみましょう。

教員：清水美貴子、松尾美奈子

新型コロナウイルス感染症対策のため
オンラインにて開催します。

開催期間内は、PC、スマホ等からの受講及びアンケートへの回答ができます。受講後アンケートにご回答いただいた方には、修了証及び記念品をお送りします。回答方法など詳しくは、薬学部ホームページをご覧ください。なお、アンケート回答者が多数の場合、記念品は抽選とさせていただきます。

薬学部ホームページ内で開催

トップページ内にあるバナーから特設ページへ移動できます

就実大学 薬学部

検索



お問い合わせ

就実大学 薬学部事務室(平日9:00~17:00)

〒703-8516 岡山市中区西川原1-6-1

E-mail: yakugaku@shujitsu.ac.jp

TEL: 086-271-8384

就実大学薬学部 研究室公開 一覧

研究キーワードを一覧にしました。研究室名(U●○○)：Uの右の数字●は、研究室のある階を表しています。

基礎薬学系

研究室名	研究キーワード
応用分析化学(U113, U104)	固相マイクロ抽出, クロマトグラフィー, 質量分析, 自動前処理技術, 分子認識, 薬毒物分析, 発がん物質, ヘテロサイクリックアミン, 生体ガス, ストレスホルモン, 酸化ストレス, 糖化ストレス, バイオマーカー, 代謝化学
薬品物理化学(U110)	計算化学, 分子シミュレーション, Cytochrome P450, 光増感剤, イオンセンサー
生薬学(U216)	天然物, 生薬, 天然活性物質, 薬とたべもの
医薬品合成化学(U206)	創薬化学, 医薬品開発, 有機化学, 薬物設計, 標的タンパク質, 医薬品の副作用
医薬品構造解析学(U213)	ラマン分光法, 近赤外分光法, 医薬品判別, 結晶多型, 固体物性分析, ケミカルイメージング
有機機能化学(U137)	有機合成, 理論計算に基づく分子設計, 蛍光プローブ, 芳香族化合物, 光物性

生命薬学系

研究室名	研究キーワード
生化学(U316, U309)	睡眠, 概日リズム, レドックス制御, グルタチオン, メラトニン, 酸化ストレス, 機能性食品
分子臨床診断学(U524, U523)	遺伝子工学, 細胞工学, 分子生物学, 分子細胞生物学, iPS細胞, 再生医療, 次世代シーケンサー, 関節リウマチ, 遺伝子医学, 遺伝子診断, 遺伝子治療, アンチエイジング
生体分子化学(U319)	マラリア, タンパク質の結晶化, タンパク質工学
分子生物学(U416, U419, U409)	微生物(細菌, ウイルス, 真菌), 抗菌, 抗ウイルス, MRSA, バイオフィルム, 薬剤耐性, 分子生物学, ゲノム科学, 遺伝子創薬学, ウイルスベクター, 鳥類の性分化, 性ホルモン合成
公衆衛生学(U516, U520, U509, U521)	多段階発がん, 発がんモデル, 安全性・有効性評価, 行動解析学, 神経科学, てんかん, 医療薬学, 生活習慣病
保健衛生化学(U519)	環境中, 特に食品成分による生体成分の傷害とその機構の解明および傷害防止策の検索, 緑茶成分によるアレルギー抑制作用

医療薬学系

研究室名	研究キーワード
病態解析学(U259)	細胞内情報伝達, 病態生理, 薬学教育
人体構成学(U415)	解剖生理学, 腎臓, 糖尿病性腎症, CKD(慢性腎臓病), 消化器系, 細胞組織配列, 好中球, 開口放出
薬効解析学(U412)	薬理学, 炎症, 免疫, アレルギー, ヒスタミン, 肥満細胞, 白血病
生体情報学(U212, U203, U234)	薬理学, 薬物治療学, 抗体医薬, 分子標的薬, 炎症, 組織リモデリング, サイトカイン
生物薬剤学(U512)	薬物代謝酵素, シトクロム P450, 薬物相互作用, 遺伝子多型, TDM
薬物動態学(U503)	オーダーメイド医療, 薬の生体内運命/薬効の予測モデル, 自己免疫疾患, 腸内細菌, 医療経済
代謝毒性学(U515)	エンドサイトーシス, アポトーシス, 細胞内小胞輸送, 脂質ドメイン

臨床薬学系

研究室名	研究キーワード
薬物治療学(U209)	薬物治療, 精神疾患, 動物モデル(うつ病, 不安症等), 神経新生, 薬物受容体, 炎症
臨床薬学(U315, U332)	ビッグデータ, ドラッグリポジショニング, 患者安全, 医薬品副作用対策, 医療経済効果
医療薬学(U312, U303)	抗がん剤(副作用対策, がん化学療法, 環境曝露), 災害医療(国際緊急援助, 大規模災害支援, フィジカルアセスメント, トリアージ), 薬剤疫学, EBM, 患者カルテ情報, 臨床研究, ジェネリック医薬品, 培養ヒト細胞
薬物療法設計学(U339, U256)	臨床薬学, 薬物血中濃度測定, 糖毒性, 薬剤性糖尿病・低血糖症, 在宅医療, 社会薬学, アミノ酸, ペプチド, 中分子甘味料